

KPI の進捗状況について（農業分野）

本資料は、「日本再興戦略」及び「『日本再興戦略』改訂 2014」（以下「戦略」という。）に掲げられた KPI の進捗状況について、現時点において、下記の方法により、内閣官房日本経済再生総合事務局でまとめたものである。

- 「KPI」の欄は、戦略の中短期工程表に掲げられた KPI を記載。
 - 「主担当省庁」の欄は、施策群ごとに設定された KPI の実現に特に関わる省庁名等を記載。
 - 「KPI の出典」の欄は、KPI の数値の根拠となる統計名、調査名等を記載。
 - 「最新の数値」の欄は、KPI の最新の数値を、時期（カッコ書き）とともに記載。
 - 「KPI の進捗」の欄は、以下の区分により内閣官房日本経済再生総合事務局において整理。
 - A：目標達成期間に対する経過期間の割合以上に、KPI が目標達成に向けて進捗しているもの
 - B：Aほど KPI が進捗していないもの
- F：施策の実行自体が KPI となっており、年度ごと施策の実施状況を確認するもの
 （KPI の例）遅くとも 2020 年を目途に電力システム改革を完了する。

N：今後、データが得られるため、現時点で評価困難なもの（今後、データが得られ次第評価を行う）
- 「KPI の進捗の詳細」の欄は、「KPI の進捗」の評価の理由等を記載。

世界を惹きつける地域資源で稼ぐ地域社会の実現
施策群：生産現場の強化

整理 No.	KPI	最新の数値	KPI の進捗	KPI の進捗の詳細	KPI の出典	主担当省庁
97	・今後 10 年間（2023 年まで）で全農地面積の 8 割が担い手によって利用される。	49.1%（平成 22 年）	N	現在農林水産省において、最新の数値（平成 25 年度まで）を集計中（本年 11 月中に集計予定）であり、かつ、平成 26 年度の実績は来年 3 月末で集計することから、現段階で評価は困難。	農林水産省「集落営農実態調査」、 「耕地及び作付面積統計」及び経営局農地政策課調べ	農林水産省
98	・今後 10 年間（2023 年まで）で資材・流通面等での産業界の努力も反映して担い手のコメの生産コストを現状全国平均比 4 割削減する（約 9,600 円/60kg）。	—	N	現在農林水産省において、担い手のコメの生産コストを確定中であり、現段階で評価は困難。 （なお、2011 年産の全国平均のコメの生産コストは、16,001 円/60kg であり、2012 年産の全国平均のコメの生産コストは、15,957 円/60kg である。）	農林水産省「米及び麦類の生産費」	農林水産省
99	・今後 10 年間（2023 年まで）で法人経営体数を 2010 年比約 4 倍の 5 万人とする。	15,300 法人 （平成 26 年 2 月）	B	目標達成時期が 2023 年で、目標達成期間が 10 年であるところ、「最新の数値」の時点で 1 年が経過。法人経営体数は、1 万 4,600 法人（2013 年 2 月）から 1 万 5,300 法人（2014 年 2 月）まで増加したものの、目標達成に向けては、1 万 8,140 法人まで増加していることが望ましいため、進捗は不十分であり、施策のさらなる推進等が必要。	農林水産省「農林業センサス」、「農業構造動態調査」	農林水産省

世界を惹きつける地域資源で稼ぐ地域社会の実現
施策群：国内バリューチェーンの連結

整理 No.	KPI	最新の数値	KPI の進捗	KPI の進捗の詳細	KPI の出典	担当省庁
100	・ 6 次産業の市場規模を 2020 年に 10 兆円とする。	1.9 兆円（平成 24 年度）	N	目標達成時期が 2020 年で、目標達成期間が 2010 年から 10 年であるところ、「最新の数値」の時点で 2 年が経過。6 次産業の市場規模（農林漁業者による加工・直売の取組）は、1.2 兆円から 1.9 兆円まで拡大したものの、平成 24 年度時点で、3 兆円まで拡大していることが望ましいため、進捗は不十分であり、施策のさらなる推進等が必要。なお、6 次産業化の市場規模の概念については、6 次産業化をめぐる環境の変化等に伴い、農林漁業者主導の取組に加え、農林漁業者と多様な事業者が連携して地域資源を活用し、新たな付加価値を生み出そうとする取組も含めるなど、その射程について見直す必要が生じたことから、現在行われている「食料・農業・農村基本計画」見直しの議論の中で整理されることとなっている。	農林水産省「6 次産業化総合調査」	農林水産省
101	・ 酪農について、2020 年までに 6 次産業化の取組件数を 500 件に倍増させる。	236 件（平成 26 年）	N	本 K P I は、改訂再興戦略において新規に設定された K P I であり、来年度から対応する施策を講じるものであることから、現時点で本 K P I の進捗状況を評価することは、困難。	一般社団法人中央酪農会議調べ	農林水産省

102	・2020 年に農林水産物・食品の輸出額を 1 兆円とし、2030 年に 5 兆円とする。	5,505 億円（平成 25 年）	A	目標達成時期が 2020 年で、目標達成期間が 8 年であるところ、「最新の数値」の時点で 1 年が経過。農林水産物・食品の輸出額は約 4,500 億円から 5,505 億円まで増加しており、KPI 達成のため現時点で必要な値である 5,189 億円を上回った。	財務省「貿易統計」	農林水産省
-----	---	-------------------	---	---	-----------	-------